HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 6
Vol.23 No.2 2016

CONTENTS

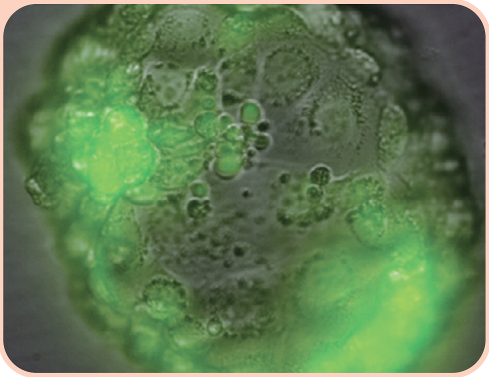
特集　発生および生体工学と生殖医療

○特集にあたって ………………………………………… 大須賀　穣　12
●ゲノム編集・遺伝子改変技術と生殖医学 ………………… 伊川　正人　13
●胎児付属物，特に羊膜を用いた再生医療の現状と展望 ………… 梅川　孝ほか　21
●体細胞クローン胚の作製……………………………………… 立花　眞仁ほか　27
●精子幹細胞および精子の体外培養 ………………………… 慎　武ほか　35
●卵子の老化とミトコンドリア ………………………………… 岩田　尚孝　41
●ミトコンドリア病と遺伝子治療 ……………………………… 石川　香ほか　47
●子宮内膜幹細胞と生殖医療 ………………………………… 加藤　聖子　55
●子宮の再生 ……………………………………………………… 古川　克子ほか　61
●体外受精における人工的操作とヒト成長への影響 ……………… 宮戸　健二ほか　67

2026/09/29 06:17:02

編集主幹
吉村　泰典：慶應義塾大学名誉教授/
南東北グループ医療法人社団三成会新百合ヶ丘総合病院名誉院長

編集委員
神崎　秀陽：関西医科大学常務理事
水沼　英樹：福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センターセンター長
大須賀　穣：東京大学大学院医学系研究科産婦人科学教授
木村　正：大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学教授



ヒト核移植胚は体細胞ゲノムを転写活性化して胚盤胞に発生する
ヒト体細胞核移植において，Ca 不含培地下に20倍希釈センダイウイルスを用いて細胞融合することで卵子早期活性化を抑制できる。さらに Ca イオノフォア，リン酸化阻害薬，翻訳阻害薬による卵子活性化およびヒストン脱アセチル化酵素阻害薬添加下に胚培養を行うことで胚盤胞発生が促進される。この２倍体胚盤胞は体細胞ゲノム由来 GFP（green fluorescent protein）（緑）を発現する。
（吉村　泰典）

（Nature 510：533-536，2014より引用）

連載

○グラビア・目で見る出生前胎児診断
──母体血胎児 DNA 診断（NIPT）── ……………… 関沢　明彦　4

○ホルモンＱ＆Ａ ……………… 神崎　秀陽　72

○脳におけるエストロゲンの見えざる作用 第10回 ……………… 武谷　雄二　76

○次号予告 ……………… 84

ロングセラー待望の改訂!!
改訂版
症例報告、何をどうやって準備する?
流れがわかる学会発表・論文作成 How To
様変わりする発表・投稿方法に対応
PowerPoint, Endnote etc. 新バージョンにアップデート
学会発表・論文作成の考え方、テクニックを
惜しみなく伝授!!
著者　佐藤 雅昭　Surgeon scientist, The Toronto Lung Transplant Program, University Health Network, University of Toronto
定価　2,940円(本体2,800円)　●ISBN 978-4-7792-0680-1
メディカルレビュー社
〒541-0046　大阪市中央区平野町3-2-8淀屋橋MIビル
TEL(06)6223-1469　FAX(06)6223-1245
〒113-0034　東京都文京区湯島3-19-11湯島ファーストビル
TEL(03)3835-3049　FAX(03)3835-3075

2026/09/29 06:17:02